

台風第19号に伴う防災情報 (第51報)

福島河川国道事務所では、台風第19号に伴う降雨の影響により、災害対策支部(非常体制)を設置し管内の警戒にあたっております。
引き続き、今後の防災情報にご注意下さい。

1. 事務所体制 【最新の体制】

支部(河川) : 10月12日 16時30分 非常体制〔河川〕
支部(道路) : 10月26日 7時40分 注意体制〔道路〕

2. 被災情報 10月27日 9時00分 現在

被災箇所【被災内容】	作業状況	施工業者
須賀川市浜尾地先 (阿武隈川左岸98.6k) 【堤防破堤L=50m、樋門1箇所 被災(浜尾第二樋門)】	・14日15時より緊急復旧工事を施工中。 ・本日、鋼矢板打込みのための施工機械の組立て後、鋼矢板の打込み作業を実施予定。 (進捗率 59%)	・三立土建(株) 郡山支店(郡山市) ・(株)鴻池組 東北支店(仙台市)

3. 現地情報連絡員(リエゾン)※1の派遣状況

派遣先	派遣人数	備考
福島市	1人	リエゾン出発(10月12日15:00) 現地着(16:05)
二本松市	1人	リエゾン出発(10月12日20:10) 現地着(20:45)
本宮市	1人	リエゾン出発(10月12日16:39) 現地着(17:06)
川俣町	1人	リエゾン出発(10月23日15:20) 現地着(16:00)
矢吹町他	1人	TEC-FORCE出発(10月14日12:30) 派遣先: 矢吹町、玉川村、鏡石町 帰還(10月14日21:20)

※1 リエゾンとは、災害対策現地情報連絡員のことをいい、リエゾンは大規模な災害が発生したときに「支援の窓口」として職員を派遣するものです。よりの確かつ迅速な災害対応支援を実施するためには、積極的な情報の収集及び提供が重要と考え東北地方整備局から各自治体災害対策本部に対して「現地情報連絡員」を派遣する制度を平成19年12月に創設されたものです。

4. 災害対策用機械稼働状況 10月27日 9時00分 現在


管轄	施設名称	配備状況	備考
郡山 出張所	排水ポンプ車	20台 うち稼働中2台	須賀川市
	照明車	9台 うち稼働7台(夜間)	伊達市、須賀川市、桑折町、矢吹町、鏡石町、浅川町
	対策本部車	2台 うち稼働中2台	須賀川市、玉川村
	待機支援車	1台 うち稼働中1台	玉川村
	衛星通信車	2台 うち稼働中2台	矢吹町、鏡石町
	Ku-SAT	1台 うち稼働中1台	鏡石町
	I-RAS	2組 うち稼働中2組	矢吹町、鏡石町
伏黒 出張所	照明車	2台 うち稼働2台(夜間)	伊達市
	Ku-SAT	2台 うち稼働中1台	福島市

5. 今後の見通し

・今後、新たな情報が入り次第お知らせします。今後の気象情報・道路情報にご注意下さい。

《事務所管内の情報は、右記のURLからご覧下さい》 <http://www.thr.mlit.go.jp/fukushima/>

＜ 発表記者會：福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ ＞

お問い合わせ先			
	国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所		
	TEL 024-546-4331 (代)		
	【 広報担当官 】	副 所 長	種市 優
【 河川関係 】	調 査 第 一 課 長	古賀 博久	内線(351)
【 道路関係 】	道 路 管 理 課 長	田中 隆紹	内線(431)